

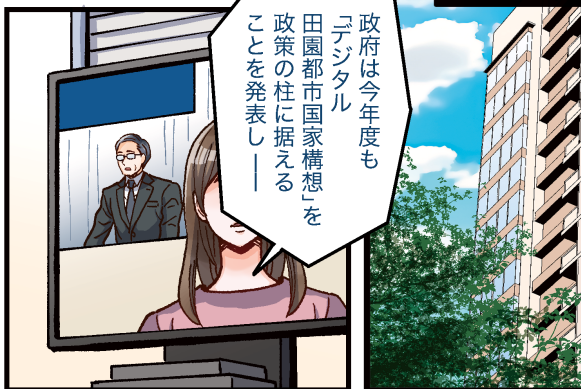
マンガでわかる

# FIWARE



アーベルソフトが支える！

悩める自治体職員を



他のソフトウェアと何が違うんですか？

うーん…

「FIWARE」は世の中にある様々なデータを利活用するために開発されたソフトウェア群です！

ちなみに「FIWARE」をどの程度ご存じでしょうか？

実はあまりわかっていなくて…良かったら教えてもらえませんか？

「FIWARE」はデータの利活用の促進を目的に標準のデータ形式を採用しています

他のソフトウェアでは難しいデータを中継するための機能や

データを可視化するための部品が準備されています

## FIWAREの構成例



たとえばスマートシティに関する仕事なら左図のように幅広い分野のデータを中継できるようになります

なるほど！スマートシティの仕事は幅広い部署と連携しなきゃいけないからこれは助かります！

もちろん「FIWARE」は部品ごとに機能が分かれており

必要な機能を利用することが可能です

## FIWAREの機能

- ・データ中継
- ・デバイス管理
- ・データ可視化
- ・認証/認可 etc…

なるほど…

まだスマートシティのシステム全体がぼんやりなだけ…

ちなみにスマートシティを構築した後も

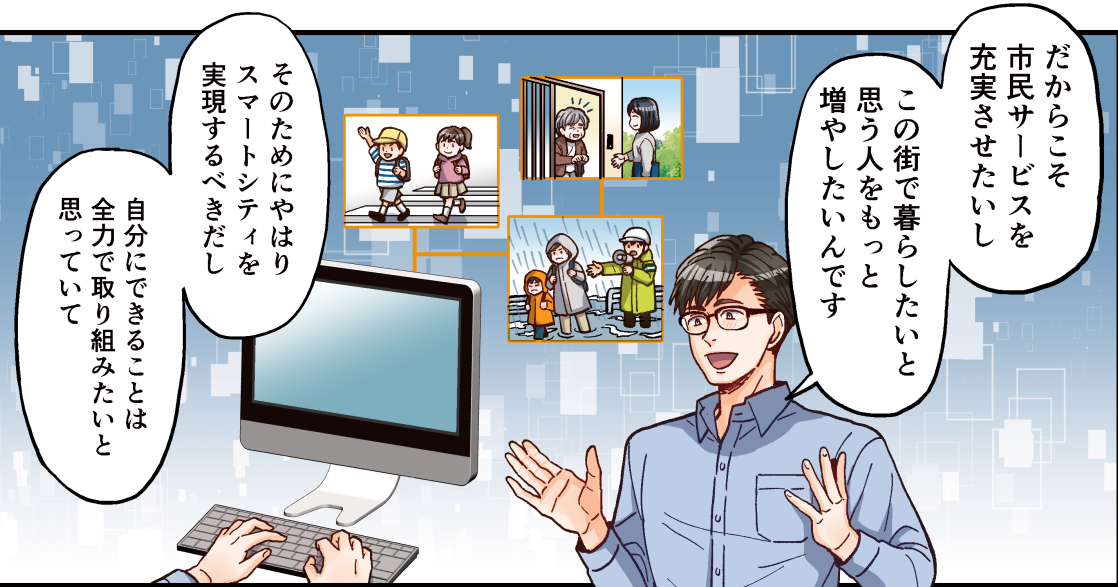
安部さんは相談に乗ってくれるんですか？

もちろんです！

当社はすでに多くの自治体で都市OSの導入をサポートしてきた実績があります

また当社はシステム会社とのつながりも豊富です  
ときには当社が橋渡し役となりベストなシステム会社を内田様にご紹介することもできます

それは心強いです！



# FIWAREを読み解く

## 4つのキーワード

キーワード  
keyword

1

未来を創る重要政策

## デジタル田園都市国家構想

■ 2021年、岸田文雄内閣の元で発表された重要政策の一つ。「デジタル技術を活用して地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されずすべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する」という構想です。

■ デジタルの力を全面的に活用し「地域の個性と豊かさ」を生かしつつ、「都市部に負けない生産性・利便性」も兼ね備え、「心豊かな暮らし」(Well-being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)の実現を目指します。

■ 政府は自治体に対してさまざまな交付金を設けており、各自治体の特性を生かしながらデジタル田園都市国家構想を推進しています。

キーワード  
keyword

2

効率化が大きく前進!

## データ連携基盤

■ 組織内の複数のシステムに蓄積されたデータを確実に収集・加工して、各システムでスムーズに利用できるようにするための仕組みです。多くの場合、統合管理ソフトとファイル転送ツールを組み合わせることでデータ連携基盤を構築します。

■ データ処理が自動化され、業務の効率化が進み、作業費や人件費が不要になるなどコスト削減にもつながります。

キーワード  
keyword

3

悩める自治体の救世主!

## FIWARE



■ スマートシティを実現するための都市OS基盤で使用されるソフトウェア群です。NGSI (Next Generation Service Interfaces) と呼ばれる標準のデータ形式を採用しており、複数のモジュール群で構成されています。

■ モジュールの組み合わせにより、データモデル標準化、データ収集、蓄積及び連携、既存都市OS基盤との接続を実現することができます。収集したデータ(モビリティデータ、カメラ画像、行政データの情報など)は、規定されたデータ形式(NGSI)・通信方式などで活用します。

■ オープンソースのため、利用許諾契約書の範囲で自由に利用することが可能です。すでに多くの自治体が導入しています。

キーワード  
keyword

4

世界規模で注目が集まる

## スマートシティ



■ デジタル技術を活用して、都市インフラ・施設や運營業務など幅広い分野を最適化し、企業や生活者の利便性・快適性の向上を目指す都市を指します。

■ 世界各国では今、中央政府や自治体がスマートシティの実現に力を入れており、国内外のさまざまなIT企業が協力パートナーとして参入してきています。

Computer & Software  
**Abel Soft**

**株式会社アーベルソフト**

〒350-0229

埼玉県坂戸市薬師町10-2

TEL.049-284-5748 FAX.049-284-5548

